

## 1 月始業式

## 聖書 マルコによる福音書 12 章 28-34 節

28 彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」29 イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』31 第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」32 律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。33 そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」34 イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。

## 共に学ぶ喜び、感謝

2022年を迎えました。後期の最後はよく次年度を前にした0学期と呼んだりします。1月から3月は2022年度0学期というわけです。実は4月から変わることが二つあります。一つは4月から成年年齢が20歳から18歳に下げられます。つまり現高校2年生以上は18歳になった時点で成人となります。

もう一つは、高校の学習内容と評価が変わります。評価は観点別評価と言います。三つの観点から評価します。知識や技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度の三観点です。暗記して覚える、計

算や会話ができるのはもちろんのこと、レポートや発表など知識や技能を生かして自ら、また仲間と共に学ぶことが大切になります。

聖書では律法学者がイエスにあらゆる掟でどれが第一でしょうかと質問していました。イエスは神を愛し、隣人を自分のように愛するという掟であると答えます。すると律法学者もその通りですと同意します。しかしイエスは律法学者に正しい答えだけれども「神の国から遠くない」と言いました。すると誰も質問しなくなりました。

つまり掟の言葉を知っているだけでは本当に知っていることにはならないということです。知識や技能として知っているだけでなく、自分で、友だちと共に調べ、話し合い、体験し、確かめ、考え、表現することです。神様を愛し、隣人を自分のように愛するのは知識だけでなく、自ら、友だちと共に学ぶ喜びや感謝から生まれるのです。

しばらく黙祷しましょう。

わたしたちを愛し、励まされる主よ。

あなたの見守りと導きの下、冬休みを過ごし、新しい年を迎えることができました。今日から後期、学年の最後の時を共に過ごします。とても寒く、また感染症が再び拡大しています。どうか英和生、教職員、ご家族の健康と安全をお守りください。また厳しい環境にある方々、特に感染されている方々、医療従事者の方々を守り、ご快復の喜びと感謝の時をお与えください。

そして春へ向かって進級、進学、新たなステージ向かって学び続ける英和生たちの上にあなたの導きと祝福をお与えください。主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン